●東日本大震災から1年を迎えるに当たって

自然災害の圧倒的な力と、原子力発電に依存する社会の危うさを痛感することになった 東日本大震災から、間もなく1年が経過します。

札幌市では、この震災で得た教訓を踏まえ、地域防災計画の見直しや学校の耐震補強といった災害対策のほか、脱原発依存に向けたエネルギー転換調査などを進めているところです。

このたび、市民にあらためて防災意識を高めてもらおうと、「札幌市防災パネル展」等の 啓発事業のほか、被災者支援のための各種イベントを実施します。

3月11日を起点に、市民一人一人が災害を自分自身の問題として真剣に考え、備えられるよう、今後も情報提供や啓発の取り組みを展開していきます。

1 市民向け啓発事業等の実施について

- (1) 札幌市防災パネル展~東日本大震災から1年
 - ① 概 要

市民の防災意識を醸成するため、被災地の状況や被災地における支援活動の様子の写真パネルを展示するほか、札幌市の災害対策の取り組みの紹介や、災害発生に対する備えなどの啓発を行う。

<展示するパネル等>

- 被災地の被災状況
- 札幌市の現地支援状況
- 水道の地震対策や建築物の耐震化の紹介
- 原発事故関連(放射線影響範囲や省エネ・節電の取り組みなど)
- 市民の備え(市の備蓄物資・地震マップ・地域の取り組み・防災グッズの紹介、家具の固定推進) など
- ② 期間·時間

平成24年3月11日(日)~14日(水)10:00~19:00

③ 会 場

札幌駅前通地下歩行空間 北1条「憩いの空間」

- (2) 「さぽーとほっと基金」による被災者支援
 - ① 概 要

「さぽーとほっと基金(札幌市市民まちづくり活動促進基金)」において、平成23年4月15日から、使い道を「被災者を支援する市民まちづくり活動」に指定した寄付の募集を開始。一定の条件を満たした市内の団体に対し、事業内容を審査の上、被災者支援活動の助成金として交付してきた。今後もさまざまな機会を捉えて、寄付の呼び掛けを継続していく。

- ② これまでの寄付額および助成実績(平成24年2月23日現在)
 - 寄付額:12,351,362円(75件)
 - 助成実績:9,465,000円(14事業)
- ③ 3月に寄付募集活動を行う予定のイベント
 - 札幌市防災パネル展(上記1-(1))

概要:札幌市立大学デザイン学部の学生が制作した募金箱を設置するほか、 同学生がデザインしたポストカードを寄付者に配布する。また、被災 地産品の販売や、震災ボランティアに取り組む若者たちによる企画も 検討中。

○ 札幌市職員発表会「元気の種コレクション」パネル展

日 時:平成24年3月8日(木)・9日(金)8:45~17:15 (募金活動は11:00~15:00ごろまでを予定)

会 場:市本庁舎1階ロビー

○ 薬物乱用防止キャンペーン(主催:札幌薬剤師会)

日 時: 平成24年3月11日(日)12:00~17:00

会場:サッポロファクトリー「アトリウム」(中央区北2条東4丁目)

○ 札幌市消防音楽隊「119ミニコンサート in 市民ロビー」

日 時: 平成24年3月12日(月)12:40~13:00

会 場:市本庁舎1階ロビー

2 被災者支援イベント「第5回ようこそあったかい道」の実施について

(1) 概 要

北海道に避難している被災者への支援を行うためのイベント。被災者への支援物資の配布や食事の提供のほか、無料法律相談、就職の相談なども行う。また、避難者とその他の市民が共に黙とうするほか、持続可能な支援をテーマとしたフォーラムを開催し、今後の課題について共に考える。

(2) 日 時

平成24年3月11日(日)

○避難者 10:00~16:00 ○その他の市民 12:30~16:00

(3) 会 場

札幌コンベンションセンター1階「中ホール」(白石区東札幌6条1丁目)

3 市民への防災意識啓発に向けた今後の取り組み(予定)

- 防災に関する出前講座の充実
- 各区での地域防災力向上に向けた取り組み(災害図上訓練の実施や災害時要援護者 支援活動など)
- 土砂災害訓練の実施
- 上級防災リーダー研修の実施 など

問い合わせ先

「札幌市防災パネル展」と市民への防災意識啓発に向けた今後の取り組みについて 危機管理対策室危機管理対策部危機管理対策課(計画担当) 山形

電話:211-3062

「さぽーとほっと基金」による被災者支援について 市民まちづくり局市民自治推進課(市民活動促進担当) 成澤

電話:211-2964

被災者支援イベント「第5回ようこそあったかい道」について 市長政策室政策企画部(プロジェクト担当) 北川

電話:211-2192